

サプライチェーンの評価・管理

CSR調達の推進により サプライチェーン全体で 社会的責任を果たします

Santenは、自社だけでなく、取引先とも連携して人権や労働問題、環境問題などに対応し、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすため、2020年に「CSR調達方針・ガイドライン」を制定しました。

2020年度は、製品供給にかかわるすべての1次取引先に対して「CSR調達方針・ガイドライン」を提示し、確認票を

用いてガイドラインの遵守状況の確認などの調査を実施しました。日本・中国・EMEA・米国の各調達担当者から取引先に回答を依頼し、90%以上の取引先から回答を得ることができました。

今後は、新規取引開始時に、また既存の取引先に対しては3年ごとに調査を実施し、当社の考え方に対する理解を求めるとともにガイドラインに準拠していない取引先があった場合には、準拠していただくよう働きかけていきます。

さらに、調査の対象範囲を拡大し、1次取引先が製造元ではない場合には、2次取引先以降の製造元への確認も進めていきます。また、間接材に関する取引先も対象に含めていきます。

この調査を通じて、取引先とコミュニケーションを図り、サプライチェーン全体を通して社会に貢献するとともに、責任ある調達行動を推進し、取引先と当社の企業価値向上を目指します。

SantenグループCSR調達方針（抜粋）

Santenグループは、「天機に参与する」という基本理念のもと、CSR基本方針や国連グローバル・コンパクトの10原則などにに基づき、取引先と協働しながら社会的責任を果たし、持続可能な社会の発展に貢献していくことを目的として、右のCSR調達を推進します。

- I. 法規制・国際規範の遵守
- II. 適正な品質・有効性・安全性と安定供給の確保
- III. 人権尊重と人権侵害への非加担
- IV. 労働者の権利と安全衛生の確保
- V. 環境保全への配慮
- VI. 持続可能な社会の発展への貢献

VOICE



黎 舜（リー・シュン）

参天製薬（中国）有限公司
生産計画部

今回、SantenグループとしてCSR調達方針を定め、推進プロセスを明確にし、サプライヤー調査の確認票を統一して、すべての拠点が同じ基準でCSR調達の評価・管理を行う体制を構築しました。サプライヤー管理のグローバル化を進めるうえで非常に重要な成果だと考えています。取引先の調査を通して、既存の取引先のCSRマネジメントの実態を確認するとともに、当社のCSR調達ガイドラインに合致しない取引先に対する対応策を明確にしました。

また、中国の取引先が内容を正しく理解できるよう、プロジェクトで中国語版の「CSR調達方針・ガイドライン」「CSR調達ガイドライン遵守状況確認票」を用意したことも活動の推進につながりました。

CSR調達方針・ガイドラインについてはHPをご覧ください。



https://www.santen.co.jp/ja/sustainability/assets/pdf/procurement_policy_j.pdf

